

部署名	部:教育委員会	課:図書館	事業年度期限:	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (平成 年度~平成 年度)
会計	一般会計	款・項・目:100404図書館費	新規/継続	継続
事業名	02図書館運営事業		市民協働	市民の関与
目的(成果)	図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い円滑に図書館を利用できるようにする。			
内容(概要)	年間280日開館し、図書の入入れ、貸出し、各種団体活動の推進を図る。			

■事業費

(単位:円)

		平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算				
事業内容	図書館貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座		図書館検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座		図書館貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座					
	財源内訳	国庫支出金	1,500,000	国庫支出金	3,000,000	国庫支出金	3,000,000			
		県支出金		県支出金		県支出金				
		市債		市債		市債				
		その他	19,380	その他	19,740	その他	3,391,000			
一般財源		4,685,386	一般財源	3,216,238	一般財源	3,128,000				
	計	6,204,766	計	6,235,978	計	9,519,000				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	165,000	01	報酬	90,000	01	報酬	158,000	
	08	報償費	230,925	07	賃金	106,910	07	賃金	3,337,000	
	09	旅費	18,350	08	報償費	242,946	08	報償費	231,000	
	11	需用費	635,546	11	需用費	622,632	11	需用費	360,000	
	12	役務費	107,265	12	役務費	118,210	12	役務費	104,000	
	13	委託料	545,580	13	委託料	545,580	13	委託料	826,000	
	14	使用料及び賃借料	4,422,600	14	使用料及び賃借料	4,422,600	14	使用料及び賃借料	4,423,000	
	19	負担金、補助及び交付金	79,500	19	負担金、補助及び交付金	79,500	19	負担金、補助及び交付金	80,000	
				27	公課費	7,600				
	決算額計	6,204,766	決算額計	6,235,978	予算現額計	9,519,000				
(参考)	H21当初予算額	6,191,000	H22当初予算額	6,232,000	伸び率(%)	対・決	52.6	対・予	52.7	+
人件費	職員人件費	3.1 人工	24,660,500	職員人件費	2.6 人工	21,026,200	職員人件費	1.1 人工	8,851,700	
総事業費	歳出+職員人件費	30,865,266	歳出+職員人件費	27,262,178	歳出+職員人件費	18,370,700				

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	開館日数	日	年間の本館開館日数	目標	280	280	280
				実績	281	278	
成果指標	図書蔵書数	冊	年度末における本館の図書蔵書数	目標	86,000	88,000	92,000
				実績	86,253	88,308	
	入館者数	人	年間の本館入館者数	目標	48000	49000	49000
				実績	46107	47382	
登録者数	冊	年度末における本館の個人登録者数	目標	11600	12400	12400	
			実績	11392	11910		

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
● A:高い(義務)    ○ B:普通    ○ C:低い	
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
図書館本館及び千代田分館にて図書資料の貸出し、学習情報の提供を行うとともに読書活動の指導助言につとめ、生涯学習活動の推進を図る。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
○ A:目標よりも大きな成果が得られた    ○ B:概ね目標の成果が得られた	
● C:目標とする成果が得られなかった	
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
東日本大震災に伴い、臨時休館をしたため開館日数が目標達成できなかった。	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
○ A:見直す余地があり直ぐに実施    ● B:見直す余地があるが時間が必要	
○ C:見直す余地がない	
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
利用者から求められる高い要求に、図書館サービスの充実を図りながら、安心して利用できる図書館にしていく必要がある。	

■課題と対応方策

課題	図書館本館で迷惑行為が行われたため、子供のみでも安心して利用できるようする。
次年度における対応方策(改善方策)	防犯カメラ・ミラー設置・職員による館内巡回
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	図書館利用者の増加

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 飯田泰寛    担当課名:図書館
事業の方向性	● このまま継続    ○ 改善して継続    ○ 休廃止(    年後を目処)    ○ 終了
事業費の方向性	● 増額    ○ 現状維持    ○ 減額
次年度の取組方針(改善方針)	いわゆる迷惑行為の防止については、定期的な館内巡視の徹底に努め、利用者が安心して閲覧できる体制を整備する。

二次評価【部長評価】

部長名	仲川文男    担当部名:教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	利用者の安心確保の観点から取り組む必要あり。

※事務事業コード／ 0110040403

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部：教育委員会	課：図書館	事業年度期限	●無 ○有（平成 年度～平成 年度）			
会計	一般会計	款・項・目：100404図書館費	新規／継続（事業区分1）	継続	市民協働	市民の関与	総合計画コード
事業名	03蔵書整備事業						3213
目的（成果）	図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、優良な図書及び視聴覚資料の整備を行い、円滑に利用できるようにする。						
内容（概要）	図書館本館及び分館に図書・雑誌及び視聴覚資料を年次的に整備していくとともに、予約・検索システムを活用し利用者の利便性を図る。						

■事業費

（単位：円）

	平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算				
事業内容	図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業			図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業			図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業				
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金				
	県支出金			県支出金			県支出金				
	市債			市債			市債				
	その他			その他			その他				
	一般財源	6,809,841		一般財源	6,857,855		一般財源	6,811,000			
	計	6,809,841		計	6,857,855		計	6,811,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	11	需用費	1,039,805	11	需用費	1,088,192	11	需用費	1,150,000		
	14	使用料及び賃借料	591,150	14	使用料及び賃借料	591,150	14	使用料及び賃借料	592,000		
	18	備品購入費	5,178,886	18	備品購入費	5,178,513	18	備品購入費	5,069,000		
		決算額計	6,809,841		決算額計	6,857,855		予算現額計	6,811,000		
(参考)	H21当初予算額	6,811,000		H22当初予算額	6,879,000		伸び率(%)	対・決	-0.7	対・予	-1
人件費	職員人件費	2.6 人工	20,683,000	職員人件費	2.3 人工	18,600,100	職員人件費	1.1 人工	8,449,350		
総事業費	歳出+職員人件費	27,492,841		歳出+職員人件費	25,457,955		歳出+職員人件費	15,260,350			

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	図書蔵書数	冊	年度末における図書・視聴覚資料蔵書数	目標	120000	122500	122500
				実績	116325	118173	
成果指標	図書購入予算額	千円	年度末における備品(図書・視聴覚資料)購入費	目標	5179	5179	5069
				実績	5179	5179	
成果指標	図書貸出数	冊	年間の図書・視聴覚資料貸出冊数	目標	85000	85000	85000
				実績	77879	81161	
成果指標	貸出人数	人	年間の図書・視聴覚資料貸出人数	目標	35000	35000	35000
				実績	23072	22785	

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
● A:高い(義務)    ○ B:普通    ○ C:低い	
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
図書館本館及び千代田分館に図書・雑誌及び視聴覚資料を備えるとともに、検索・予約システムも導入し利用者からの要求に応える。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
○ A:目標よりも大きな成果が得られた    ● B:概ね目標の成果が得られた	
○ C:目標とする成果が得られなかった	
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
蔵書数については、汚損・破損等により利用者に提供できないものや10年以上貸出しがない資料等は除籍処分を行っているため、購入分すべてが蔵書数の増加には伴っていない。	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
○ A:見直す余地があり直ぐに実施    ○ B:見直す余地があるが時間が必要	
● C:見直す余地がない	
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	限られた予算の中で利用者の要望を満たした選書が求められている。
次年度における対応方策(改善方策)	他の図書館と比較し設定数が約3分の1である雑誌の種類を増やし、より親しみやすい図書館としていく。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	社会情勢の変化を考慮した長期的な蔵書計画を策定する。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	館長 飯田泰寛    担当課名:図書館
事業の方向性	● このまま継続    ○ 改善して継続    ○ 休廃止(    年後を目処)    ○ 終了
事業費の方向性	○ 増額    ● 現状維持    ○ 減額
次年度の取組方針(改善方針)	前年度に続き、利用者の要望にあわせた整備を図る。
<b>二次評価【部長評価】</b>	
部長名	仲川文男    担当部名:教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	優良図書と要望図書の選択により整備を図ること。

部署名	部 教育委員会	課 図書館	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)				
会計	一般会計	款・項・目 100404図書館費	新規/継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民の関与	総合計画 コード	3112
事業名	04ブックスタート事業							
目的 (成果)	子育て支援の一環として、生後4ヶ月児及びその保護者を対象に、赤ちゃんとお絵本を介し心のふれあうきっかけづくりをする。							
内容 (概要)	4か月児健診の際、民生委員児童委員(霞ヶ浦地区)、ボランティア(千代田地区)が本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をパックにして参加者へ提供する。							

■事業費 (単位:円)

事業内容		平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 予算		【特記事項】		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金				
	県支出金			県支出金				
	市債			市債				
	その他			その他				
	一般財源	437,740	357,370	一般財源			366,000	
	計	437,740	357,370	計			366,000	
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称		金額	うち臨時分
	11	需用費	437,740	11	需用費		357,370	
	決算額計	437,740	決算額計	357,370	予算現額計	366,000		
(参考)	H21当初予算額	438,000	H22当初予算額	364,000	伸び率(%) 対・決	2.4	対・予	0.5 +
人件費	職員人件費 0.5 人工	3,977,500	職員人件費 0.5 人工	4,043,500	職員人件費 0.4 人工		3,218,800	
総事業費	歳出+職員人件費	4,415,240	歳出+職員人件費	4,400,870	歳出+職員人件費		3,584,800	

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	ブックスタート対象者数	組	ブックスタート事業の対象者となる4ヶ月児及びその保護者	目標	440	420	400
				実績	398	371	
成果指標	ブックスタート実施回数	回	年間のブックスタート事業実施回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	ブックスタート事業参加者数	組	ブックスタート事業に参加した4ヶ月児及びその保護者	目標	370	390	330
				実績	383	343	
成果指標	ブックスタートパック最終受取者数	組	最終的なスタートパック受取者数	目標	400	400	400
				実績	393	344	

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

現代社会において希薄となりがちな保護者と子供との関係を強化するとともに、絵本を介し心安らぐ子育てを支援し、読書の動機付けを図り生涯学習活動の足がかりとする。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

事業に対し非常に高い参加率があり一対一で対応しているため、ブックスタートの内容説明だけでなく、子育ての相談にも応じている。

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

今後も、民生委員児童委員・ボランティアの協力を得て実施していきたい。

■課題と対応方策

課題	ブックスタート事業と図書館の利用とが結びついていない。
次年度における対応方策(改善方策)	民生委員児童委員やボランティアの方にブックスタート参加者へ図書館の利用をPRしてもらう。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	対象者の保護者にこの事業の持つ目的や大切さをPRし、絵本の配布事業に終わらないようにする。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 飯田泰寛    担当課名:図書館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(    年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	赤ちゃんと保護者のための読書へのきっかけづくり事業であることをふまえ、引き続き取り組むこととする。

二次評価【部長評価】

部長名	仲川文男	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	妥当であり継続が必要。		

部署名	部：教育委員会	課：図書館	事業年度期限	○無 ●有（平成 年度～平成 23 年度）			
会計	一般会計	款・項・目：100404図書館費	新規／継続（事業区分1）	新規	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	05知の地域づくり事業						3213
目的（成果）	地域の自立と再生に向けた知的財産を大切に「地域づくり」をめざす事業です。						
内容（概要）	図書館の視聴覚備品及び資料の充実や調べ学習支援資料の整備さらに各学校へ資料の提供を行う。						

■事業費 (単位:円)

事業内容	平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算			
	事業内容	視聴覚機器の購入、図書資料・視聴覚資料の購入			視聴覚機器の購入、図書資料・視聴覚資料の購入			視聴覚機器の購入、図書資料・視聴覚資料の購入		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金	16,000,000		
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他			
	一般財源			一般財源			一般財源	1,000,000		
	計			計			計	17,000,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
				18	備品購入費	0	18	備品購入費	17,000,000	17,000,000
		決算額計			決算額計			予算現額計	17,000,000	17,000,000
(参考)	H21当初予算額			H22当初予算額			伸び率(%) 対・決 皆増	対・予	皆増 +	
人件費	職員人件費	人工		職員人件費	人工		職員人件費	0.6 人工	4,425,850	
総事業費	歳出+職員人件費			歳出+職員人件費			歳出+職員人件費		21,425,850	

**【特記事項】**  
 この事業については、平成22年10月の閣議において補正予算が決定され、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分にあてられてこなかった分野に対する補助金として「住民生活に光をそそぐ交付金」の交付が決定されました。その後交付金申請を行い交付決定されたのが2月上旬です。このため補正予算後の事務執行のため平成23年度に繰越をいたしました。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	団体貸出件数	件	1団体200冊までを限度に2ヶ月間の貸出件数	目標 実績			100
	視聴覚機器の利用回数	回	図書館内の視聴覚コーナーの利用回数	目標 実績			2500
成果指標	団体貸出件冊数	冊	1団体200冊までを限度に2ヶ月間の貸出冊数	目標 実績			2500
	視聴覚資料の貸出件数	件	視聴覚資料の貸出件数	目標 実績			7000

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	担当課名:図書館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

二次評価【部長評価】

部長名	担当部名:教育委員会
確認	<input type="checkbox"/> 確認